



2026年2月期
決算説明会資料



2026年4月14日
株式会社 アークス 代表取締役会長・CEO 横山 清

2026年2月期通期決算 2027年2月期業績予想

1. 業績サマリー
2. 2026年2月期 連結業績ハイライト
3. 2027年2月期 業績予想
4. 株主還元・配当政策について

株式会社アークス
取締役副会長・CFO 古川 公一

1. 業績サマリー

・2026年2月期 総括

売上高は6,269億円となり、過去最高額を更新

- ・ 売上高前年比103.1%、既存店売上高前年比102.9%と伸長
- ・ 既存店客数の増加（前年比+0.4pt）、地場商品や惣菜関連の強化と、値頃にて販売した米の売上等が寄与

営業利益は176億円となり、前年比110.6%の増益

- ・ 商流統一による原価低減、カテゴリーマネジメントやオペレーション共有等の取組み
- ・ 販管費コントロールにより販管費前年比102.3%に抑制
- ・ マンアワー管理表活用による人時売上高確保への取組み推進

・2027年2月期 業績予想

売上高は6,480億円（前年比103.4%）の見通し

- ・ 新インフレに対応した新納得価格での訴求
- ・ 積極的な新店及び改装投資と競合店対策による増収
- ・ アークスグループ限定商品・地場商品などの展開強化

営業利益は過去最高額である180億円（前年比102.1%）の見通し

- ・ 商流統一やセンター活用による原価低減に向けた取組み
- ・ グループ各社の好事例の横展開による生産性向上及び業務効率化の徹底
- ・ 事業会社間の収益格差の是正（低調事業会社の業績改善）

2. 2026年2月期 連結業績ハイライト

売上高は過去最高額を更新。販管費を予算内執行し、対前年比で各段階利益すべて増益となりました。

(億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期実績
売上高	1,542	1,593	1,510	1,621	6,269
前年比	103.7%	103.6%	102.8%	102.2%	103.1%
予算比	100.6%	100.9%	100.2%	100.8%	100.6%
売上総利益	386	397	380	414	1,578
前年比	103.5%	104.0%	103.1%	102.2%	103.2%
予算比	99.7%	99.8%	99.8%	100.2%	99.9%
売上総利益率	25.0%	24.9%	25.2%	25.5%	25.2%
販管費	347	356	341	356	1,401
前年比	103.9%	102.1%	100.4%	103.0%	102.3%
予算比	99.6%	99.2%	97.4%	99.8%	99.0%
売上高販管費率	22.5%	22.3%	22.6%	22.0%	22.4%
営業利益	38	41	39	57	176
前年比	100.1%	124.8%	135.0%	97.7%	110.6%
予算比	100.3%	105.6%	127.4%	102.9%	107.5%
売上高営業利益率	2.5%	2.6%	2.6%	3.5%	2.8%
経常利益	42	45	42	61	191
前年比	99.3%	122.0%	130.0%	97.5%	109.2%
予算比	99.8%	105.0%	123.4%	102.3%	106.5%
売上高経常利益率	2.7%	2.8%	2.8%	3.8%	3.1%
当期純利益	27	29	27	39	124
前年比	105.1%	124.8%	136.2%	98.2%	112.5%
予算比	101.4%	104.1%	122.8%	117.1%	111.1%
売上高純利益率	1.8%	1.8%	1.8%	2.4%	2.0%

売上高・売上総利益：

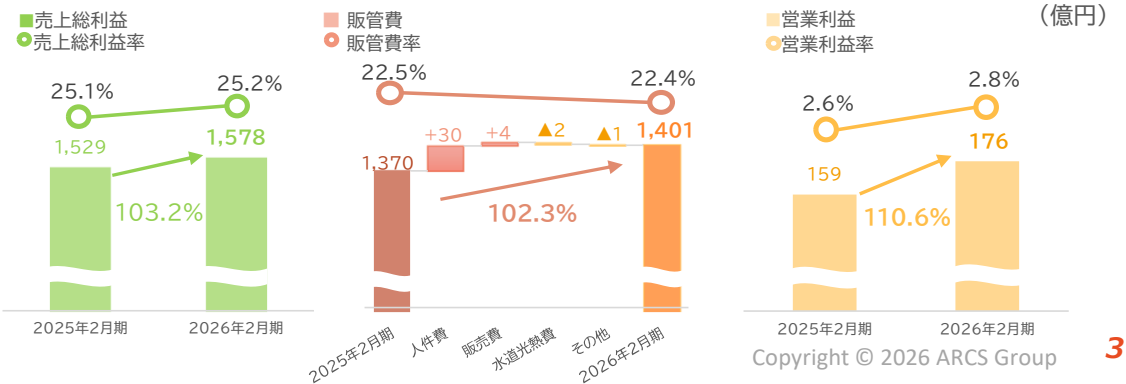
米の値頃価格での販売に加え、物価高・節約志向に対応した納得価格が支持され、既存店客数は前年比100.4%と増加。売上高が堅調に推移したことに加え、グループ規模を活かした商流統一やカテゴリーマネジメント、オペレーション共有化等の取組みにより、総利益率が前年比+0.1ptの25.2%となったことから、売上総利益は前年比103.2%となった。

販管費：

人件費において、パートナー社員の作業改善やマンアワー（MH）管理表を活用した人時売上高向上の施策により、残業時間を削減した。第4四半期は業務効率化及び店内照明等の修繕・備品への投資を実施。通期累計では予算内執行（予算差▲14.1億円、予算比99.0%）した。

営業利益・経常利益・当期純利益：

売上総利益の増加及び販管費コントロールにより、前年比は営業利益110.6%、経常利益109.2%、当期純利益112.5%と増益となった。



3. 2027年2月期 業績予想

売上高、営業利益、経常利益を過去最高数値にて計画。予算達成に向けて各種施策に取り組んでまいります。

(億円)	2026年2月期 通期実績
売上高	6,269
前年比	103.1%
売上総利益	1,578
前年比	103.2%
売上総利益率	25.2%
販管費	1,401
前年比	102.3%
売上高販管費率	22.4%
営業利益	176
前年比	110.6%
売上高営業利益率	2.8%
経常利益	191
前年比	109.2%
売上高経常利益率	3.1%
当期純利益	124
前年比	112.5%
売上高純利益率	2.0%

2027年2月期業績予想		
上期	下期	通期
3,235	3,245	6,480
103.1%	103.6%	103.4%
811	826	1,637
103.5%	103.9%	103.7%
25.1%	25.5%	25.3%
726	730	1,457
103.3%	104.6%	103.9%
22.5%	22.5%	22.5%
84	95	180
105.6%	99.2%	102.1%
2.6%	2.9%	2.8%
92	104	196
105.0%	99.9%	102.3%
2.8%	3.2%	3.0%
60	64	124
105.0%	95.1%	99.6%
1.9%	2.0%	1.9%

売上高

- ・新店4店舗及びスーパーアークス化を含む改装を20店舗を予定、加えて競合店対策の徹底
→既存店売上高前年比103.5%
- ・CGCグループ及び新日本SM同盟との協業、イベントやキャンペーンの拡大、アークスグループ限定商品や地場商品の展開
→新納得価格の訴求による客数確保
- ・アークスアプリでのAI販促機能の導入検討

販管費

- ・人件費857億円を計画(前年差+39.7億円、前年比104.9%)
- ・生産性向上の取組み
→生鮮食品における発注業務のAI活用化、青果用自動包装機導入
→作業習得表の仕組を横展開し、パートナー社員の多能工化、戦力化を図り、人手不足を補完、生産性の向上
→マンアワー(MH)管理表を活用し、人時売上高の向上、人員の適正配置、残業時間の削減

事業会社間の格差是正

- ・低調事業会社への「ヒト・モノ・カネ」の経営資源投入
- ・棚割りや定番・お買い得商品等のオペレーション共有化
- ・アークスグループの規模メリット最大化

4. 株主還元・配当政策について

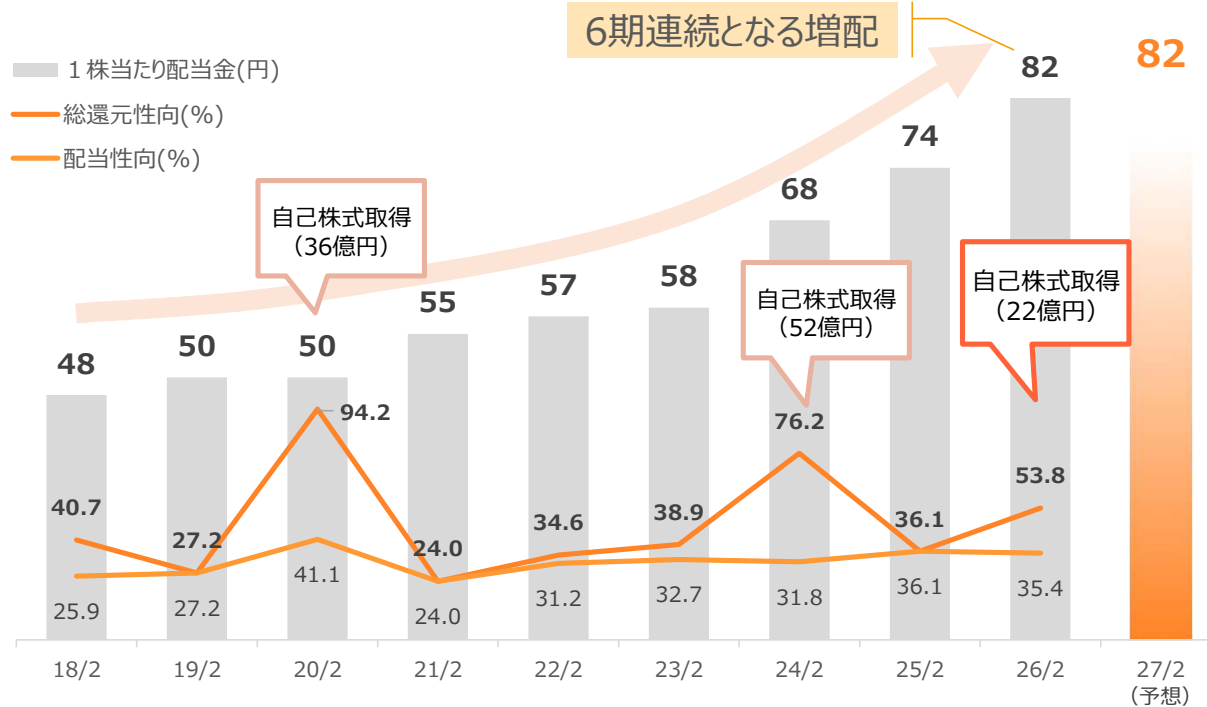
株主還元方針

配当性向

40% を目指します

配当金

2027年2月期 1株当たり 82円 予想



2026年2月期

22.9億円の自己株式取得を実施
 期末配当を8円増配し、年間82円の
 配当実施を予定

※2026年2月16日に6円増配を決定、
 4月13日に2円の追加増配を決定しました。

2027年2月期 見通し

1株当たり配当金82円予想
 (中間41円、期末41円)
 配当性向40%を目指し、積極的な株主
 還元の推進、及び資本政策の強化し、
 企業価値向上に取り組んでまいります。

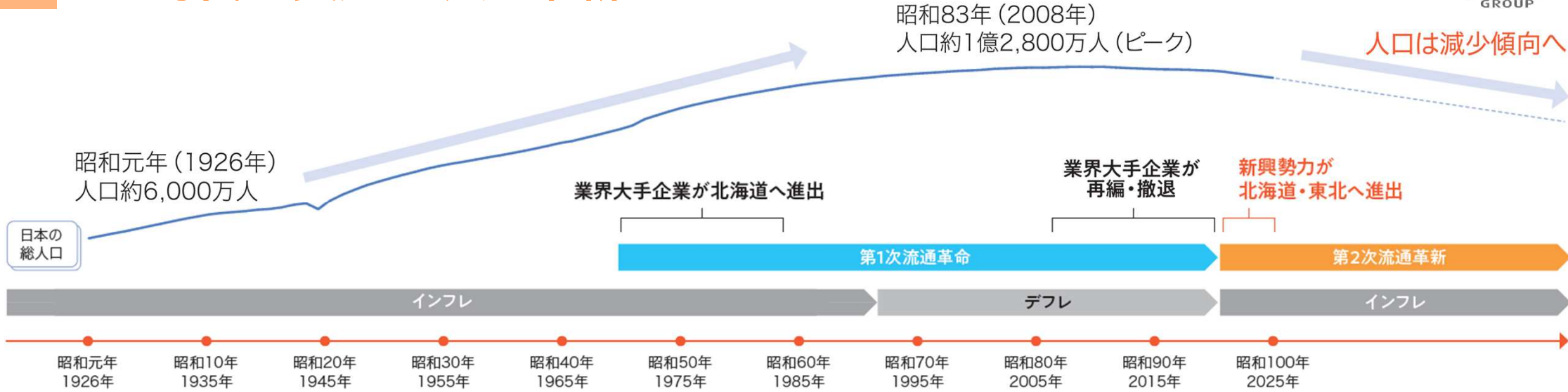
「株主資本配当率(DOE)」を意識しながら長期安定的な累進配当を実施

アークスグループの 取り組み

1. 時代の変遷と流通革新
2. 新納得価格で明るく楽しく前むきに邁進
3. アークス設立30周年に向けて

株式会社アークス
代表取締役会長・CEO 横山 清

1. 時代の変遷と流通革新



三
新

新インフレ
新参入
新納得価格

第1次
流通革命


1970年代に業界大手企業が
北海道に進出後、
2020年代に
再編・撤退するまで

第2次
流通革新

2020年代、インフレ下で
ディスカунターや
オンラインショップなどの
新興勢力が北海道・東北へ
進出して以後

2. 新納得価格で明るく楽しく前むきに邁進

世界情勢が不透明感を増すなか、エネルギーを始めとしたあらゆるコストが高止まりしている。
インフレが続いていく中実質賃金は伸び悩んでおり、消費者の節約志向は根強い。

**インフレ続く時
賃金物価の壁
を生産性向上で
突破し好循環
実現に全力投球**
令和七年元旦
会長 横山清 


▲令和七年年頭所感

新インフレを凌ぎ 賃金・物価が変則的に移り変わる中でも生き残る

新参入とも共進 競合は成長の糧 互いに競いながら高め合う

新納得価格で 新しい価格体系のもと生産者も消費者も「納得」を追求

明るく楽しく前むきに邁進

**新インフレを凌ぎ
新参入とも共進
新納得価格で
明るく楽しく
前むきに邁進**
令和八年元旦
会長 横山清 

▲令和八年年頭所感

3. アークス設立30周年に向けて

Try One Trillion!

アークス設立30周年 (2033年2月期)

売上高目標 1兆円以上

新日本スーパーマーケット同盟



M&A (Mind & Agreement)



八ヶ岳連峰経営



CGC



ご清聴ありがとうございました

